

～看護の日イベント開催～ 看護の心をみんなの心に

5月11日（金）に地域の方々にご参加いただき、看護の日のイベントを開催させていただきました。第9回目となった看護の日のイベントも、地域のみなさまに広く知っていただけることとなり、これまでの参加人数を大きく上回る皆様にご参加いただきました。

5月12日は近代看護の基礎を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日です。1990年、「看護の心、ケアの心を、ひろく国民の、女も男も等しく分かち合い、特に21世紀の高齢化社会を担っていく子供たちにも、その心をはぐくんでいきたい」と看護の日として制定されました。

イベントは高橋病院長による挨拶から始まり、今年から琵琶湖中央病院が、回復期リハビリを専門にする滋賀県で唯一の病院となったことで、高齢化社会となった今を生きる地域の方々に、健康寿命を延ばすお手伝いができることを伝えられました。

講演は坂井田副院長による『人間の発達と衰退について～人の一生について～』というテーマでお話いただきました。整形外科が専門で、スポーツドクターなど幅広く活躍されている先生は、主に年齢とともに衰えていく筋力や骨の強度などを画像やグラフを使って説明され、地域のみなさまにもわかりやすい例え話や自身の経験からユーモアを交えて話され、会場は笑いで包まれました。熱を帯びた講演は予定時間を大幅に過ぎて、拍手をもって和やかに終わりました。その後、健康チェックと健康



相談が行われました。今回、導入した体組成計は、体の脂肪量、筋肉量などを測り、年齢別にその数値が標準なのか、そうでないのかを知ることでできる機械で、長蛇の列ができていました。また、健康や栄養について、

看護師や栄養士と気軽に相談していただきました。普段の自分の体調を知り、健康に生活していくことについて考えていただく機会になったと思います。

最後に、毎年みなさまに楽しみにしていただいている、栄養科による手作りのケーキと紅茶で懇親会をしました。今回のケーキは、今話題の甘酒を使った、甘酒マーブルパウンドケーキです。ほのかに甘酒と抹茶の風味のする甘さを抑えた優しい味わいのケーキに、みなさま舌鼓を打たれていました。

この懇親会の間に、看護部から毎日のちょっとした時間でできる、頭と心と体を癒す効果のあるハンドマッサージについての説明がありました。看護師の説明とビデオを見ながら、片手ずつセルフマッサージをしながら、おしゃべりに花が咲いていました。イベントは和気あいあいとした空気の中、滞りなく終わりを迎えることができました。

これからも、「看護の心」をみなさまと分かち合って、共に助け合い、支え合う関係を築き、地域のみなさまのよりどころとなる病院になるよう努力していきたいと思います。



ご参加いただきました地域のみなさま、ありがとうございました。

090-2382-8432

“新” 腰痛サポートカー始動！！

自宅までお迎え。びわこブルーの鮮やかな新車が始動。詳しくはホームページをご覧ください。

